

すてき発見わたしたちの園のシート

	平成30年度にわたしたちの園が 頑張ったこと・工夫したこと
子どものため	○4月のうちに懇談を行い、子ども1人1人について、家庭とよく話し合いをした。お互いの考えや子どもについて理解を深め、日々の保育に生かすことができた。
	○駐車場が狭いため、子どもたちの安全を第一に考え、送迎時の車の誘導をきめ細やかに行うことができた。送迎時に職員から明るく挨拶をすることで、子どもたちも挨拶ができるようになった。
	○食育では、献立に使う材料を子どもたちに見せたり、米とぎ、野菜切りなど実践したりした。食べる事に意欲をもたせ、苦手な食べ物もアイデアをだして克服できるように働きかけた。
	○季節ごとに行事を取り入れ、歌ったり、踊ったり、演奏したり、劇をしたり、絵画を展示する機会を作った。
	○和太鼓、マーチング講習を行い子どもたちの能力を高めたり、自信をつけさせたり、ほめられたりする活動ができた。
保護者のため	○ヤマスポーツクラブに依頼し、指導員に来園してもらい、以上児は体育教室を行った。運動能力だけでなく、ルールやチームワークなども学べた。未満児の保育にも取り入れ、生活参観において親子体育あそびを楽しんだ。
	○入園式で保育理念・目標を説明し、毎日の送迎での会話や4月の個別懇談において、保護者の不安や質問にできるだけ答えるように努力した。また相談や要望などがあった場合には、適切に対応することができた。
	○各クラスごとに生活参観日をもうけ、体育教室や朝のお集まり、製作活動など園でのわが子の様子を見てもらう機会を作った。
	○給食の展示、レシピの配布をし、食育計画で目標としている「・楽しく食べる子ども・思いやりや感謝の気持ちを持つ子ども」になるように食育活動を続けてきた。
	○生活参観日に給食試食会を行い、園での食育活動や楽しく食べる子どもたちの様子を伝えた。
組織として	○園だより（さくらだより）やクラスだよりを発行し、保育の成果や子どもたちの様子を伝えた。又、写真を取り入れることで、よりわかりやすく伝えることが出来た。
	○保護者にも行事に参加してもらい、親子で共通の体験をすることにより、子どもの成長を実感してもらったり、一緒に楽しみを共感することが出来た。又、保護者同士の交流の場となりして、とてもよかった。
	○職員会議や行事後の反省会などを通して、園の方針、活動の目的、問題意識の共有などを職員間で共通理解し、協力することができた。来年度へ向けてさらに良い方法を考えられた。
	○各自研修会に参加したときは、内容を報告し、みんなに伝わるようにした。職員の研修報告には必ず目を通し、保育に生かすようにしている。
	○普段から職員でよく会話をし、子どもに関する事など情報交換をしたり、助言をしてもらったりして、コミュニケーションがよくとれていた。
	○未就園児の親子体育あそびや保育園見学会、観劇会へのお誘いなど地域の子どもたちとその保護者を行事に招いたり、子育て支援センターへ出向いて絵本の読み聞かせなどを行い子育て支援に取り組んだ。又、地域のお年寄りを招いて、お花見会や球根植えを行い交流の場を作って一緒に楽しむことが出来てよかった。